



革命アイドル暴走ちゃん Miss Revolutionary Idol Berserker とは

肉体・音楽・映像・大量の小道具を用いて、観客の「五感」「感覚」を刺激する「強制参加型エンターテイメント」

プリセット、本編、アンコール、客出しのアーチで構成される。

上演時間約 40 分の過剰に濃縮された衝撃的時間とおもてなしを提供する。

日本のサブカルチャーやアニメソング、アイドルソングが轟音で鳴り響き、踊り続ける事で統制されたカオス空間を作り出す。

海外公演では 25 名程度、日本公演では 30 名程度の出演者を要する。衣装はまるでアニメやマンガのキャラクターが飛び出してきたかのようにカラフルでポップに揃えている。

舞台奥と側面にプロジェクターから作品の世界観に合わせた映像を投影。最近では客席側面にも映像を投影する。

作品は、「現代」の「日本」、「東京」に生きる「等身大の若者」視点での創作を心掛けています。

愛情溢れるコミュニケーション（おもてなし）を迫る観客参加型のパフォーマンス「おはぎライブ」を提供する。

現代社会の縮図。これが革命アイドル暴走ちゃんのいずれの作品にも共通したメインテーマである

情報過多、かつ圧倒的スピードで流動する使い捨て時代の現代では、情報の選択に違いが出るように、本団体の作品でも座る位置によって観たモノ、体験したモノが異なる構造となっている。

毎公演、ひとつのモチーフを掲げられる。（恋愛のような身近なものから、現代社会の縮図のような大きな問題定義まで）

小グループでいくつかに分かれた出演者達が、「同時多発的」に表現し、50 曲余りの楽曲をリミックスして作られた演舞曲ひとつひとつに、それぞれ異なる世界を提示する。ダンス、セリフを用いた演技表現(日本語、英語、各国の言語)、ヲタ芸（日本のギーク文化を作品に取り入れた演出は暴走ちゃん独自のもの）を使用する。

音楽、演者の声、統率のとれた動き・フォーメーションを、思考を越えたスピードで提供し「感じさせる」「心を動かしていく」パフォーマンスである。

革命アイドル暴走ちゃん おはぎライブとは

圧倒的な熱量と決して聴衆を飽きさせまいとする過剰なショー

日本のサブカルチャーやアニメソング、アイドルソングが轟音で鳴り響く場内。一見混とんとしていながら、恐ろしいほど統制された30人のキャスト達がサイリウムや多種多様な小道具を置き、所狭しと場内を駆け巡り、肉体の限界に挑まんとするごど激しく踊り、演じ続ける…。時には水やわかめ、さらには豆腐までが飛び交う衝撃の空間の中で、観客はびしょ濡れ（そして食べ物まみれ）になりながら恍惚とした表情でパフォーマンスを見届ける…。

客席と舞台が混沌の渦に巻き込まれながら一体化する衝撃のパフォーマンスを繰り広げる。

今の日本、東京に生ける私たちの当たり前の日常、衣食住から過去、黒歴史、感性、愛、夢、希望、パフォーマー—個人の個性に至るまで、すべてのものを取り上げて「現象」「物語（人が生きているという事）」をアートとして昇華する。

混沌に巻き込まれた観客は、自分自身も暴走ちゃんのメンバーであったと錯覚する。約40分の嵐のような時間から、観客は日常へ戻ったとき、何を感じるのか。観客までもが最後には演出されている。



アンコールについて

文化を文化たらしめるものは発信する側ではなく享受する側「観客」にある。

本編後に行われるヲタ芸で構成されたパフォーマンス。最後に舞台と客席の転換が行われる。

ヲタ芸は、日本の客席から生まれた観客文化であり、応援文化である。作品を提供する側である私たちが、客席に向かってヲタ芸を打つ。それによって、アイドルとヲタクの関係性が入れ替わり、発信する側と享受する側が反転する。

舞台という空間で提供側と享受側の境界線を意図的に曖昧・融解させ、会場の一体感と共に、観客も一人の発信者であると気付かせるメッセージが込められている。

ヲタ芸というサブカルチャーの象徴を用いる事によって誰しもが持つ、マイノリティーな部分を全て肯定するアート作品である。



団体紹介

2013年4月に演出家・振付家の二階堂瞳子が旗揚げ。同年8月にスイス・チューリッヒ、オランダ・グローニンゲン、ドイツ・ハンブルクから招聘を受け、ヨーロップツアーにて活動を開始。劇団員は主宰の二階堂瞳子、加藤真砂美、アマнда・ワデル、高村枝里、出来本泰史、相原咲（制作）の6名。

2014年のドイツ公演では公営放送TVで放送され、ドイツ語圏のダンス月刊誌「TANZ」の8月9月合併号の表紙を飾った。

2015年のオーストラリア公演ではフェスティバルのメインプログラムで招聘を受ける。暴走ちゃんの写真でラッピングされたトラムがアデレードを走ったり、現地の新聞シドニーモーニングヘラルドに「日本の若者文化と怒りで、観客を爆発させる」という劇評が掲載されたりし、評判を呼ぶ。

2016年6月にはロングラン・ヨーロップツアーを敢行。ドイツ・ポーランド・イギリスの3カ国で、イギリス・ロンドン（LIFT Festival）ではバービカンシアターで上演するという快挙を成し遂げる。また、LIFT Festivalでは、現地の障害のある子ども審査員からのアワードをもらうイベントがあり（The Children's Choice Awards）、子供たちのネーミングセンスあふれる賞（「最強のポンポン賞」「暴走ちゃんを愛していますで賞」「頭の上にスカートが降ってきたで賞」「目の前でベロチューして毒切りしてクレイジーで平和だったで賞」「頭が飛ばされたくらい最強の公演でしたで賞」「痙攣で賞」など）を多数受賞。

2013年から2016年現在までに、海外ツアーを5度成功させた。国内でも東京劇場内にとどまらずライブハウスやプロレスリング、アイドルイベントへの出演、ドキュメンタリー上映会、野外ライブ、商店街でもパレード公演、子供、高校生徒のワークショップなどのアウトリーチ活動などを行っている。

国内外含め、各種雑誌、新聞、ラジオ、WEB動画、CM、TVなどに取り上げられている。

主宰・演出家・振付家・俳優 二階堂瞳子
Founder, Director, Choreographer, Actor TOCO NIKAIDO



俳優・制作 加藤真砂美
Actor, Planning MASAMI KATO



俳優・海外制作 アマнда ワデル
Actor, Overseas production Amanda Waddell



俳優 高村枝里
Actor ERI TAKAMURA



俳優 出来本泰史
Actor TASHI DEKIMOTO



制作 相原咲
Planning and Production SAKI AIHARA



二階堂瞳子 TOCO NIKAIDO

北海道札幌市出身、1986年10月16日生 演出家・振付家・役者。

桜美林大学総合文化学群演劇専攻卒業。

自身が学生時代に地下アイドルとして活動した経験からヲタク文化をアートに転化させる試みを始め、アイドルソングや、アニメ、ヲタクなどの現代日本を代表するサブカルチャーを取り入れた独自のメソッドを築きあげる。

【驚きのないものに人は感動しない!】という信念の元、今の日本東京から派生した、超濃密、超高速、超過剰な自然現象をパフォーマンスに取り込み、現代に生きる若者の身体からカオスティックかつ狂騒的なエネルギーで発散させることで、舞台上で強烈な一体感を生み出す。

生き急ぐサブカルチャー文化を起点とした“まとまりのないぐちゃぐちゃなもの”を“芸術”として昇華、情報過多で一見無秩序なカオスに見えるが、独自の演出メソッドによる規律とルールによって支配され、同時多発的で躁病的、そして氾濫する情報を観客に提示する。



2013年 ニューヨークの近代美術館 MoMA でフィーチャーされる。雑誌・美術手帖に特集が組まれる。

高校演劇大会、演劇祭で審査員を務める。(2016年現在含む)

2014年 村上隆主宰『GEISAI#20』で審査員を務める。映画『あの娘、早くババアになればいいのに』振付。

2015年 オーストリアの donaufestival にて OTTO RETTER INSTITUTE より the Otto Retter Theatre of Cruelty Award 2015 を受賞。

TBS『アメージパング!』に出演開始。

2016年 BS フジ『カンニング竹山の遊びじゃねえんだよ!!』に審査員として出演。

MMJ プロデュース『若組様まいる』(銀河劇場)振付。

他、小劇場出演、振付舞台多数。

活動記録 Biography

海外

2013年

8月 ヨーロッパツアー2013「Ms.BerserkerATTTTACKS!!Elektro☆Shock☆Luv☆Luv☆Luv☆Shout!!!!」
 スイス・チューリッヒ テアターシュペクターケル
 オランダ・グローニンゲン ノーダーゾーンパフォーミングアーツフェスティバル グローニンゲン
 ドイツ・ハンブルク インターナショナルサマーフェスティバル

2014年

8月 ドイツツアー2014「Noise and Darkness」
 ドイツ・ハンブルク インターナショナルサマーフェスティバル
 ドイツ・ベルリン タンツ イム オーガスト

2015年

5月 ヨーロッパツアー2015「Dawn of the Revolution」
 ドイツ・ミュンヘン
 オーストリア・クレムス ドナウフェスティバル
 9月 革命アイドル暴走ちゃん アジアツアー2015「Rebirth」
 オーストラリア・アデレード OzAsia Festival 招聘公演
 特別公演: Under30 (18歳から30歳までのメンバーシップクラブ対象)公演を実施。

2016年

6月 ヨーロッパツアー2016「Extreme Voices」
 ドイツ・ブラウンシュバイク シアターフォーメンフェスティバル
 ポーランド・ボズナム マルタフェスティバル
 イギリス・ロンドン リフトフェスティバル
 ドイツ: Action / Re - Action Artistic Interventions in Processes of Transformation
 フェスティバル主催: アジアの演出家によるトークショーに出演。(日本、タイ、韓国)
 ポーランド: ダンスワークショップ実施(野外スペースにて 参加者: 一般 回数: 1回)
 現地の日本文化を勉強する大学生による、インタビュー会
 現代日本演劇・暴走ちゃんに関するインタビューを受ける会を設ける。
 イギリス: 交際交流基金主催: Miss Revolutionary Idol Berserker: Talk by Toco Nikaido 演出家
 The Children's Choice Awards
 (障害のある子供たちが審査員となり対象公演を観劇し、自作の賞を授与するもの)

日本

2013年

8月 TACT Festival『アイドル、アニソんで踊ってみた!!!!!!』オープニングアクト
 小学生以上の参加者達と上演 会場: 大阪市立阿倍野区民センター(大阪・阿倍野)

2014年

2月 TPAM in Yokohama 2014 Showcase Program「騒音と闇」 会場: 相鉄本多劇場(横浜)
 5月 GEISAI #20クロージングアクト「THE NOISE!!!!!!」 会場: 東京流通センター
 9月 革命アイドル暴走ちゃん東京初公演「騒音と闇 ドイツ凱旋ver.」
 会場: こまばアゴラ劇場(駒場東大前)

2015年

1月 革命アイドル暴走ちゃん新春特別公演「うるかむ☆2015～革命の夜明け～」
 会場: 絵空箱(江戸川橋)
 革命アイドル暴走ちゃん 2015年大新年会「暴走night」 会場: あをば荘(押上)
 2月 TPAM参加企画「横浜ゲリラ ゲリラ・ジャパン at 横浜」
 会場: KAATロビー、横浜美術館前(横浜)
 10月 二階堂瞳子生誕記念祭!! トークショー NAKED LOFT (新宿)
 あうるすぽっとタイアップ公演シリーズ
 革命アイドル暴走ちゃん アジアツアー2015「Rebirth オーストラリア凱旋ver.」
 会場: あうるすぽっと(東池袋)

2016年

1月 革命アイドル暴走ちゃんアジアツアー【Rebirth】密着ドキュメンタリー上映会
 会場: NAKED LOFT (新宿)
 2月 電撃ネットワークのギョウソウ主宰 ギョウ農フェス Rord to 栃木!!
 ～爆音キックオフ ギョウ農怒りの鉄拳～
 『2.11(ニートンイチイチ)革命アイドル頂上決戦』 会場: 新木場1stRING (新木場)
 暴走ちゃん虹色プロジェクト case.1 シブゲキ実験週間参加作品
 『3・20(サンテンニーゼロ)シブゲキ暴走ミッドナイト★』 会場: シブゲキロビー(渋谷)
 10月 生うどん美少女説明会 ゲスト出演 会場: LOFT9 shibuya
 アートラインかじわ『駅前革命』 会場: 千葉県柏駅 柏駅前通り(ハウディモール)

メディア出演

- 2015年 WEB番組「吉田尚記 dスタジオ supported by docomo #9」出演
CM Google Android 出演
TBS「アメージング」出演開始。
二階堂瞳子国際交流基金インタビュー http://www.performingarts.jp/j/art_interview/1504/1.html
- 2016年 記事掲載: SPICE、、産経ニュース、ステージナタリー
シアターガイド 10月号 ヨーロッパツアー書下ろし3カ国ツアーレポ掲載
Abema Prime 「AbemaNews」コーナー イケ変見つけた! 出演
しらべえの暴走ちゃん特集 <http://sirabee.com/2016/10/16/174601/>

その他、多数掲載。

問い合わせ先

革命アイドル暴走ちゃん

MAIL tenchan.special@gmail.com

WEB <http://www.missrevodolbbbbbbberserker.asia>

Twitter @mri_berserker Facebook Instagram 暴走ちゃん検索

公演写真

<http://m.flickr.com/#/photos/101006902@N06/page8>



ご拝読いただきまして誠にありがとうございました。

活動開始から四年目になりますが、まだまだ未熟な団体です。常に自分たちの最大限を尽くし、誠心誠意作品を創作していく所存です。

ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。今後とも、革命アイドル暴走ちゃんをよろしくお願い致します。

敬具